

昭和30年9月3日発行 アサヒスポーツ(B4版)

高校野球特集より関連ページ抜粋

asahi sports アサヒスポーツ

9月1号

高校野球特集

50円

本号8ページ増

優勝旗を先頭に場内を一周する四日市高チーム、続くは坂出商チーム＝藤木写真部員撮影

このページは 朝日新聞社様のご好意により作成しましたので

無断で転載することを禁止させていただきます。

大優勝旗を中心に晴れの入場式

甲子園に集う若き球児



真夏の球宴・熱闘の八日間

才引回全国高校野球選手権

高校球児の最大の憧れ、夏の甲子園大会は、ハワイ遠征に備えて開催日を例年より三日早めて八月十日から行われた。出場全チームとも技量は際立って進歩、第一回戦から決勝戦まで二十二試合の多くは、わずかの運不運が勝敗を左右した。技量優秀な選手が数多く目立ち、この中からハワイ遠征代表選手十七名(別掲)が選ばれた。

城東投打ともに圧倒 全く期待を裏切った静岡

①名門静岡と初陣城東。大会第一戦としては跳え向きの顔合せだったが、結果は予期に反した。十四対一の安打数を比較するまでもなく、技量試合運び、精神力、練習量のすべての分野において、城東は静岡を圧倒し去った。松浦を有する静岡商を3-0で降したという。評価したのは確かに間違っていないが、それにしても種茂、浦部、中野を中心とした打戦が全然鳴りをひそめ、六回まで中飛失の一進者を出したきり、九回を走者でテキサス安打一本と四球一を得たのみに終わったのは、期待を裏切ることにはなほだしかなかった。

②静岡の森は、鋭さのないスロー・カーブとゆるいドロップが武器。どちらかといえば打たせてとる型の投手だが、城東の上位打者がこのカーブを巧く狙い打ったのだから、これをかわす術がなかった。四回を除いて毎回のように安打の走者を塁上に送りながら、むしろ三本の失点で喰止めたところ、に静岡の善戦があり、非力の森をもち立てた捕手種茂の好リードがあったともいえる。城東の岡村は春に較べて一段と進歩し、安定度を加えて城東の支柱になっていた。(石崎 竜)

△一回(城) 森本中飛、福島中前安打、松本二ゴロ(勝) 良知三振、鈴木久遊ゴロ、種茂投ゴロ △二回(城) 土居左越二塁打、岡村三振、中村二

ゴロで土居三進、島山三振(勝) 浦部、中野、森と三者三振 △三回(城) 松岡二ゴロ 森本左前安打、福島遊越安打、松本一塁背後にテキサス安打して満塁、西岡三遊間安打で森本生還、岡村の遊ゴロで西岡二封(勝) 鈴木忠遊ゴロ △四回(城) 中村二ゴロ 島山四球、松岡の中飛で島山難塁大きく併殺する(勝) 良知中飛落球に生きた鈴木久の一塁バントに二進、種茂中飛、浦部三振 △五回(城) 森本左前安打、福島の投前バントで森本二進、松本中飛、西岡四球、土居の中前安打で森本生還岡村遊飛、(勝) 中野三振、森一邪飛、鈴木忠三振 △六回(城) 中村一ゴロ 島山二飛、松岡左中間二塁打、森本投ゴロ(勝) 高橋三振、今井左飛、良知遊飛 △七回(城) 福島中飛、松本遊撃強襲安打、西岡三塁左安打、土居遊飛、松本三盗成らず(勝) 鈴木久左飛、種茂一邪飛、浦部四球、中野右前テキサス二塁打で走者二、三塁となったが森二ゴロ △八回(城) 岡村遊ゴロ 中村三振、島山三前バント安打、松岡三振(勝) 鈴木忠中堅ライナー、高橋三振、今井投飛 △九回(城) 森本左前安打、福島の遊ゴロは森本と併殺、松本遊撃内野安打悪投で二進、西岡三ゴロ(勝) 良知左飛、鈴木久右飛、種茂の一、二間安打性の当りは二塁手の好技に阻まる



城東対静岡 三回表城東一死満塁のとき三塁走者森本、西岡の三遊間安打に生還、捕手種茂、球審中村

城東対静岡 二回表城東無死左越二塁打に出た土居、投手けん制球が高くそれてセーフ、左から土居、野手鈴木久、壘審高見

法政対岩手 五回表法政二死二塁走者二宮捕手の逸球で三進をころみだが寸前に刺さる、三塁手板垣



策に倒れた法政二高 岩手の殊勲者川村、沢野

①前評判の軸には力のない法政二であった。一つは都会チームらしく策に走り過ぎたのが、われとわが手で生命を断つような結果を招いた。岩手に一、三、五回と小刻みに得点を加えられたことが、精神的な焦りを招き、一気に勝負を決しようとして、無意識のうちに策をろうすことになったのもあろうか。六回三ゴロ失に出た九番の照屋に二盗を敢行させてムサムザ徒死させ、その直後にむだ花に終らせたのなどはその最たる例。七回や八回は三ゴロ失に出た秋沢と次打者二宮の間にバント・エンドランを試み、

△一回(法) 吉沢三振、坂田右飛、熊倉投ゴロ(岩) 板垣四球、打者名久井のときデイレッド・スチールを行い捕一遊と転送、遊撃手落球で二進、名久井も四球、田口投バント失で満塁、田中の中飛で板垣生還、小泉中飛、沢野遊飛 △二回(法) 大泉二ゴロ 宮遊ゴロ、秋沢三振(岩) 佐々木捕邪飛、村川、平野ともに三振 △三回(法) 二宮二ゴロ 根岸四球、照屋二飛、吉沢遊ゴロ(岩) 板垣左前安打、名久井の二前バントは野選、田口投前バントで板垣三封、田中右前テキサス安打で満塁、小泉の中飛で名久井生還、沢野三振 △四回(法) 坂田投ゴロ 熊倉三振、大泉二塁右を抜く三塁打に左が宮三振(岩) 佐々木左前安打、村川の遊ゴロで併殺、平野三ゴロ △五回(法) 秋沢中飛、二宮左前安打、根岸の一ゴロで二進、捕手の逸球で三進を企てたが刺さる(岩) 板垣三塁線二塁打、名久井右飛、田口三振、田中の左越二塁打で板垣生還、小泉の遊ゴロ失で田中三進したが塁を回り遊一捕一三で三本間に刺さる △六回(法) 照屋三ゴロ 失に出たが二盗成らず、吉沢中前安打、坂田三遊間安打、熊倉一邪飛、大泉の右翼大飛球は野手好捕(岩) 沢野右飛、佐々木左飛、村川死球、平野三ゴロ △七回(法) 宮二飛、秋沢三ゴロ失、二宮とバント △八回(法) ランを敢行したが三一一遊で併殺(岩) 板垣三振、名久井右飛、田口三振 △九回(法) 根岸三ゴロ 照屋二ゴロ、吉沢遊ゴロ 内野安打、坂田三振(岩) (法政の中堅手飯島となる) 田中中飛、小泉四球、二盗に成功、沢野、佐々木ともに三振 △九回(法) 飯島遊ゴロ 大泉一ゴロ、宮遊ゴロ

(石崎 竜)

坂出、拾い物の2点

六回、岩手に手痛い二失策

④二回坂出は先取点をあげ有利に見えたが五回岩手の小泉、村川の安打で同点を潰さず、二盗、二塁後振出しへともし興味は後半へと持越された。

⑤六回坂出は思わぬ得点を拾い勝敗を決してしまつた。この二死後、山科が安打で出たあと、打者中川の時、二盗に成功。中川は遊撃ゴロ、これで無事終つたかに見えたが遊撃手はこれを横にハジけた。この失策は怪卒を責められるが技術的なものはその後の頭腦的な失策である。これは記録には表われないが岩手にとつては致命的なものであった。

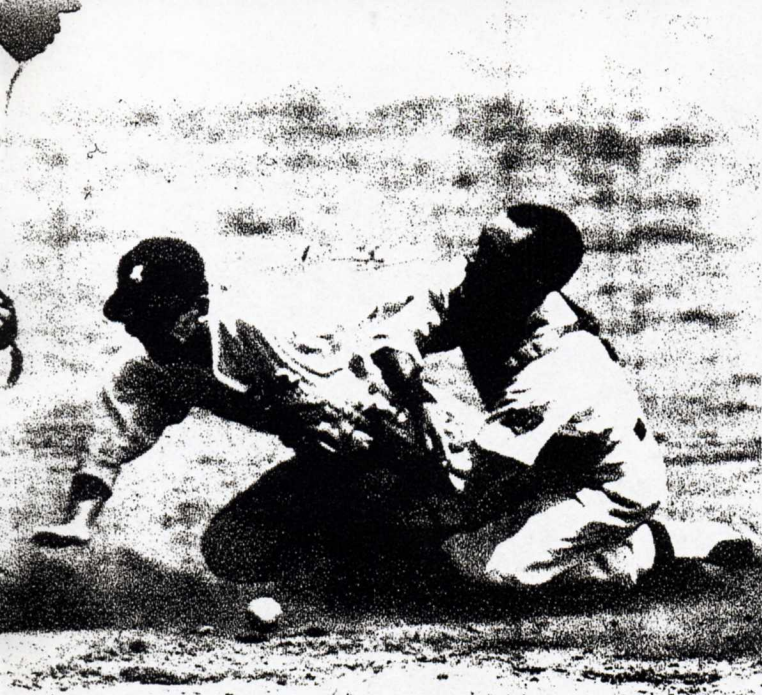
⑥二死後二塁に走者があ

るとき捕手田中は遊撃ゴロを打たれると同時に一塁へのカバリーの為一塁後方へと向つてスタートを切つた。遊撃手はこれを横にハジけた。二塁の走者は得たりと三塁を大きく回り本塁へと脱兎の如く……これを刺すべく遊撃手は本塁へ投球。気がついた捕手はあわてて本塁へと戻つた。走者と捕手の競走、ここにこの試合の勝敗が懸けられていた試である。

⑦走者、捕手そして白球……者一休となつた本塁上アウトか。セーフか。

⑧捕手のミットから心なしかボールは落ちた。セーフである。勝負が決した一瞬であつた。

試合経過
 △一回(岩)板垣三振、名久井遊ゴロ、田口三振、(坂)山地、邪飛、山田黒田ともに三ゴロ
 △二回(岩)田中三振、小泉飛、沢野中前安打、佐々木三振(坂)山科四球、中川の捕前バントで一進、岡崎の中前安打で生還、水本四球、大東左飛、大喜多四球で満塁、山地左飛
 △三回(岩)村川三振、平野遊ゴロ、板垣左飛、(坂)山田左前安打、黒田の遊ゴロで二封、山科の二ゴロは黒田を併殺
 △四回(岩)名久井右飛、田口三振、田中左飛、(坂)中川遊ゴロ、岡崎四球、水本三ゴロで併殺
 △五回(岩)小泉遊越安打に出て二盗、沢野の三ゴロで三進、佐々木投ゴロ、村川中前安打で生還、平野三ゴロ(坂)大東三振、大喜多中飛、山地左飛
 △六回(岩)板垣投ゴロ、名久井、ゴロ、田口捕邪飛(坂)山田遊ゴロ、黒田投ゴロ、山科三塁越テキサス安打に出て二盗、中川の遊ゴロで一盗、本塁を衝き、捕手落球で生還、中川三進、岡崎四球、水本の左前安打で中川生還、大喜多遊間安打で満塁、大喜多、ゴロ
 △七回(岩)田中捕邪飛、小泉三ゴロ、沢野遊ゴロ、(坂)山地三ゴロ、山田左前安打、投手ボークで一進、黒田投ゴロで山田、二間にはさまれたが投手の悪投に生き、山科四球で満塁、中川とのスクイズ失敗して山田三本間に刺され、走者二、三進、中川、直
 △八回(岩)佐々木遊撃内野安打、村川の投前バントで二進、平野の二ゴロで三進、板垣三ゴロ、(坂)岡崎遊ゴロ、水本右飛、大喜多三振
 △九回(岩)名久井左前飛、田口、田中ともに三振



岩手高対坂出商 ④六回裏坂出商二死後、二塁走者山科、中川の遊ゴロ失に乗じて一挙ホームをつき捕手田中の落球で生還、球番小沢 ⑤五回表岩手無死で安打ででた小泉が離塁大きく、捕手けんせいの際に二盗に成功、捕球せんとするは大喜多遊撃手

(相田暢一)